



政府統計

報道関係者 各位

平成 25 年 2 月 26 日

【照会先】

大臣官房 統計情報部

人口動態・保健社会統計課 保健統計室

室長 瀧村 佳代

室長補佐 岩崎 容子

(担当) 受療行動統計係(内線 7518)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3595)2958

## 平成 23 年受療行動調査結果（確定数）の公表

厚生労働省では、このほど、「平成 23 年受療行動調査（確定数）」の結果を取りまとめましたので公表します。

受療行動調査は、医療施設を利用する患者に対し、医療を受けた時の状況や満足度などを調査し、今後の医療行政の基礎資料を得ることを目的としています。

この調査結果は、「平成 23 年受療行動調査（概数）」（平成 24 年 9 月 11 日公表）について、「平成 23 年医療施設静態調査」（平成 24 年 11 月 20 日公表）及び「平成 23 年患者調査」（平成 24 年 11 月 27 日公表）とのデータ結合・再集計により、概数であった数値を確定数とし、さらに患者調査の調査項目とのクロス集計により新たな図表を追加したものです。

なお、東日本大震災の影響により、岩手県、宮城県、福島県については調査を実施していないため、今回の結果はこれら 3 県分を除いて集計しています。

### 【調査結果のポイント】

#### ○診察までの待ち時間（初診－再来別・外来患者のみ）

待ち時間は「30分未満」が初診41.0%、再来44.8%、「30分以上」が初診42.0%、再来41.5%となっており、「30分未満」は再来の割合が高く、「30分以上」は初診も再来も同程度の割合となっている。（11頁 図5）

#### ○診察時間（初診－再来別・外来患者のみ）

診察時間は「10分未満」が初診46.9%、再来53.7%、「10分以上」が初診32.5%、再来29.5%となっており、「10分未満」は再来の割合が高く、「10分以上」は初診の割合が高くなっている。（12頁 図6）

#### ○自覚症状（主な傷病分類別・外来患者のみ）

受診した病気や症状を初めて医師に診てもらった時に「自覚症状がなかった」患者は、「新生物」40.8%、「内分泌、栄養及び代謝疾患」40.4%などとなっており、「新生物」を部位別にみると、「気管、気管支及び肺の悪性新生物」54.9%、「前立腺の悪性新生物」53.8%、「胃の悪性新生物」49.9%、「肝及び肝内胆管の悪性新生物」42.9%、などとなっている。（15頁 図12）

#### ○セカンドオピニオン〔他の医師の意見〕（悪性新生物の部位別）

悪性新生物のセカンドオピニオンが「必要だと思う」患者は、外来が「肝及び肝内胆管の悪性新生物」、「気管、気管支及び肺の悪性新生物」とともに34.6%、「胃の悪性新生物」31.2%などとなっており、入院は「子宮の悪性新生物」51.7%、「乳房の悪性新生物」50.2%などとなっている。（18頁 図17）

詳細は別添資料をご覧ください。